

2021.10.28 (木)  
第11回例会  
(通算3638回)

## 2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平  
副会長 浅川 正伸  
幹事 市橋 多佳丞  
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度  
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度  
RI会長 シェカール・メータ  
第2500地区ガバナー  
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	経済と地域社会の発展月間・米山月間
本日のプログラム	ガバナー公式訪問例会 (担当：理事会)
次週例会	講師例会 「ビジネス書のベストセラー作家が釧路に今伝えたい」 (担当：プログラム委員会) <small>～採用と知名度の脱安売り、一気に解決するならブランド戦略～</small>

- ロータリーソング：それでこそロータリー
- 会員数 103名
- ビジター 2021-2021 RID2500 漆崎 隆ガバナー ・ // 伊藤 広樹副幹事  
同 第7分区 長倉 巨樹彦ガバナー補佐 ・ // 上川原 昭副幹事・奈良 清成副幹事
- ゲスト なし

### 乾杯挨拶 吉田 潤司パストガバナー



漆崎ガバナー、今日は釧路クラブにお越しいただきまして、また先ほどは『会長・幹事会』、また『クラブ協議会』で大変ありがたいアドバイスをいただいたと聞いております。本当にありがとうございました。

また、先般の『地区大会』は久しぶりの地区大会で、このコロナ禍の中で漆崎ガバナーの大英断、決意で開かれました。私も公式訪問で行った時に仲間になりました稚内の会員や利尻の会員など遠くからも来まし

んなに会いたかったのだと、本当に漆崎ガバナーのご苦労とご英断に感謝でございます。私も公式訪問へ行きまして体力には結構自信ができましたけれど後半は風邪を引くとひどくなりました。漆崎ガバナーも体は大きいですが疲労はかなり蓄積していると思います。まだ7カ月あります。これからわれわれを引っ張っていただかなければいけないですから身体に十分ご留意されまして、これからまたお会いできなかったクラブ会員の所にも回られると聞きましたので、北海道は広いですけどもガバナーの熱意を皆様に伝えていただき、みんなに勇気を与えていた

きたいと思います。どうぞお身体に気をつけて頑張っていたきたいと思います。よろしくお願いたします。

それでは、乾杯をしたいと思います。今日の公式訪問で感謝の気持ちと漆崎ガバナーのこれからのますますのご活躍をご祈念いたしまして、乾杯をしたいと思います。

会長の時間 杉村 莊平会長

お食事の方は、そのままお続けください。皆さん、こんにちは。本日も多数のご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。

### 会長の時間

杉村 莊平会長



気づいている方は、気づいているかもしれませんが、ちょっと変化があります。この卓数が少しずつ増えてきて、基本6名の卓数にしております。少しずつ with コロナと言いますかコロナ禍からの離陸を図っていきたくと思います。いつの間にかこのパーティションがなくなっている日が近く来るように願っておりますが、どうぞよろしくお願いたします。

本日は、漆崎ガバナー、伊藤副幹事、長倉ガバナー補佐・上川原幹事・奈良幹事におかれましては、大変

2020-2021 Kushiro Rotary Club Bulletin 7

お忙しい中ご出席いただきまして本当にありがとうございます。改めまして感謝とお礼を申し上げます。

漆崎ガバナー年度が始まりまして4カ月になります。この間、ガバナーにおかれましてはコロナの影響で次々と予定が変更になる中、2500地区66クラブを一生懸命に回られていると聞いております。わがクラブも、実は9月30日の公式訪問例会を変更させていただきまして、ご迷惑をかけたクラブの1つでございまして、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

ということで、ガバナーは回られているのですが、まだ旭川方面を含めて10クラブぐらいの訪問が残っていると聞いております。通常でも大変なガバナー公式訪問ですので、改めてお身体には十分ご留意いただきまして、すべての訪問を無事終えていただければと思っております。

大変お疲れのところ、この後ご講話をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

ひとつだけクラブのお話をさせていただきます。先週の夜例会は、多数の皆さんのご出席をいただきました。そしてまた親睦委員会の皆さんの大活躍のもとに無事に夜例会を再開させてもらえたことにお礼申し上げます。これも皆さんのご理解とご協力のおかげだと思っております。ありがとうございます。改めてお礼申し上げます。

例会の形も以前の状況に少しずつ戻していきたいと思っております。ぜひ皆さんのご協力をいただきながら、また楽しくロータリーを進めていきたいと思っております。

本日の挨拶は、以上にしたいと思っております。よろしく願いいたします。

### ■本日のプログラム■ ガバナー公式訪問例会

#### 国際ロータリー第2500地区 漆崎 隆ガバナー



釧路ロータリークラブの皆さま、こんにちは。先ほどは素晴らしいクラブ協議会に参加をさせていただきまして誠にありがとうございました。皆さま方の熱気

と、そして地域を代表する素晴らしい自負心が現れていたクラブ協議会であったと感じます。今後も2500地区のリーダークラブとしてご活躍をよろしく願いいたします。

先ほど、杉村会長から「2回も開くようになってす

みません」というお話がございましたが、私は会長・幹事会、そして今日の会合と釧路クラブの皆さまと2回お会いできるという大変嬉しくラッキーな男だと思っております。今日の公式訪問例会を大変楽しみにしてやってまいりました。皆さま方との出会いが今後のロータリー活動に何かの形で生きてくればと思いません。

今日は、公式訪問で初めて私の時間を30分取っていただきました。原稿は一生懸命に考えて、30分ちょうどで終わるように考えていますが、時には20分や15分しかなかったりして、途中オロオロする場面がありましたけれども、今日は30分間お話をさせていただきたいと思っております。

今年度のR I会長は、シェカール・メータさんというインドの方です。メータさんは、大変積極的で行動派の方です。そして私たちガバナーの研修『国際協議会』は毎年アメリカのサンディエゴですと行われてきまして、今年度からフロリダ州のオーランドで開かれるというその第1回目の協議会が開かれる予定でした。残念ながらコロナの影響を受けて「今年は集まることができない、WEBで開催します」と確定したのが開催をする1カ月と少し前でした。

その時、私も慌ててパソコンで協議会に参加をしなければということで、あまり得手ではないパソコンを特訓しました。もう1人は大変でしたけれども。

ガバナーのパートナーにも独自のプログラムがあって、「独自のパソコンでないと研修を受けられません」という話になって、私の家内はパソコンを全く触ったことがなく1カ月前にタブレットを購入して、その場で女の子にズームを入れてもらいました。そうしたらいまの時代はすごいことが起きるもので、2月1日～11日までの11日間、パートナーの協議会に遜色なく出席ができるようになりました。それは奇蹟としか言いようがない、また同じような方がたくさんいらっしゃいました。

そしてWEBで開催されることについては、アメリカのリーダーシップもまたすごいと思えました。各国の言葉を常時通訳が付いて同時通訳で会議が進むのです。世界8カ国の言葉に対応できるように段取りをしています。これがまたアメリカはやっぱり世界のリーダーの国だと実感をしたところでもあります。

前置きはそれくらいにしまして、シェカール・メータさんが、今年度2月1日～11日までの国際協議会でR I会長テーマを発表しました。2月1日の最初の演説です。このメータさんの演説は、私はもちろん、世界中のロータリアンが大変感動をして見ておりました。シェカール・メータ会長の今年度テーマの発表のシーンを8分間のビデオに収めておりますので、ぜひ感動をもう一度皆さんと一緒に味わいたいと思っております。8分間のビデオ、これは英語で話してしまっ

下にテロップが出てきます。読めない方は移動してでも見ていただければと思いますので、よろしくお願いたします。

### 国際協議会シェカール・メータ R I 会長テーマ演説 動画鑑賞



メータ会長の世界中で誰も知らない第一声がこれです。そして会長テーマが『Serve to Change Lives』と発表になりました。この Serve to Change Lives、日本語に訳しますと「奉仕をみんなの人生を豊かにするために」です。この時以来、今年度の活動がスタートいたしました。この言葉を受けまして、地区スローガンは『ロータリーの素晴らしさを広めましょう』としました。ロータリーの素晴らしさ、この本題に入る前に2つお話をしたいと思います。

その1つは、いまロータリーが大きく変わると感じているのは私1人ではないと思います。研修リソースが変わった背景には、次のような現実があります。今日の世界は、1905年のロータリー発祥時の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されております。不変なのは、ロータリーを定義付ける価値観に対するニーズであります。こうして生まれたのが2015年に発表された『ロータリーのビジョン声明』です。つまり、私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しております。

このロータリーのビジョンの実現に向けて、ロータリーの新しい戦略計画が発表され、ロータリーの行動計画である4つの優先事項が唱えられました。

- 1つ、より大きなインパクトをもたらす。
  - 2つ、参加者の基盤を広げる。
  - 3つ、参加者の積極的な関わりを促す。
  - 4つ、適応力を高める。
- であります。

つまりどのようなことが起きても、ロータリーの原点を見つめながら素晴らしい仲間と共に生き抜く、ということではないかと私は感じました。

しかし100年以上を経ても変わらないものがあります。それはロータリーの中核的価値観に変わりはありません。それらの行動は皆さまが常日頃から行ってお

ります「4つのテスト」、ロータリーの目的・五大奉仕部門に現れております。ロータリーの中核的価値観とは、親睦・高潔生・多様性・リーダーシップであります。

次の100年を目指して、次のことが現在検討され実行されつつあります。いろいろなことが出てきます。SRF委員会・ロータリー未来形成委員会もそのひとつです。また先ほどシェカール・メータ会長がおっしゃったDEI・多様性・公平さ・開放性・方針、これもそのひとつであります。地区協議会でも詳しくお話をさせていただきました。またローターアクトのロータリーへの参加、これも新しく変わってくることです。RLIの活用も、そのひとつに数えられると思います。世界のロータリーの現状を踏まえて様々な改良・改善が組み込まれ、次の100年に向けていま活動を始めているところでもあります。

先ほど2つあると言ったもう1つなのですが、私はここが一番大切なことだと思います。それはいかにコロナ禍による影響からロータリアンが元気を取り戻し、地域のリーダーとして職業奉仕を完璧に行い、そして地域にいかに活気をもたらすか。これがクラブ活動で一番大切な部分ではないかと思えます。このことに今年度一番力を入れたいと考えております。アフターコロナの牽引者に私たちロータリアンがなりましょう。

次に、「ロータリーの素晴らしさ」について少しお話をさせてもらいたいと思えます。コロナ禍のこのような時だからこそ、立ち止まってもう一度ロータリーの原点を見つめ直してみたいと思えます。

ロータリーは、慈善団体ではありません。発展途上国の援助が目的の団体でもありません。ましてお金集め・人集めが目的の団体でもありません。

ロータリーの本質には、素晴らしい魅力があります。ポール・ハリスの「ロータリーとは何か」という自問自答が『My Load two Rotary (ロータリーへの道)』に出ております。そこで、ポール・ハリスは「ロータリーとは何か。何千人のロータリアンに聞けば何千通りの答えが返ってくるだろう。しかし、もしロータリーがより寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり、助け合うようにしてくれるなら。そして、人生の美しさと歓びを発散し、伝えるようにしてくれるなら、それが、われわれが求めるロータリーのすべてである。それ以上ロータリーに何を求めることがあろうか」と記しております。

もう少しロータリーの原点を見つめたいと思いま



す。ロータリーを始めたのは、もちろんポール・ハリスです。ロータリーの基礎に「サービス」を教えたのは、皆さんよくご存じのアーサー・フレデリック・シェルドンです。このサービスを日本語に訳したのは「奉仕」という言葉です。この奉仕を辞典で引きますと、1つ、仕え奉ること。2つ、自己の利害を離れて頂上のも

のや公共のために尽くすこと。と書いてあります。これは、ロータリーの奉仕・職業奉仕にはなりません。サービスという言葉が日本で使われている多くの意味は、労力や金品を無料で相手やかかわいそうな人にやってあげる・与えてあげるという意味に使われることが多いように思います。

ロータリーでは、お医者さんが無料で診断をしてあげることが職業奉仕ではありません。むしろ社会奉仕です。また弁護士の先生が、無料相談をしてあげるのも職業奉仕にはなりません。社会奉仕と言えるのではないではないかと思えます。

英語で職業は「occupation」ですが、ロータリーの職業は「vocation」です。つまり vocation は、天職、天から与えられた、神様から与えられた世の中のためになる職業です。これは、ロータリーの職業は人々が、社会が必要でないものはひとつもありませんという意味であります。

私事になりますが、34年前、ロータリークラブへの入会を誘われた時の話です。ロータリーの名前は知っていましたが、内容はよく分かりませんでした。そこで「ロータリーとは何ですか」と訪ねました。そうしたら会員の方から「ロータリーとは、親睦と奉仕です」と言われました。その「親睦」という言葉は何となく分かるような気がしたのですが、「奉仕」という言葉はよく分かりませんでした。それで、その方に「奉仕とはどのようなことでしょうか」とお訪ねしたところ、「奉仕とは、自分の仕事・自分の職業・自分の事業を一生懸命にやることです。そうして仕事で知り合った相手に心から喜んでいただくこと。それが本当の奉仕です」と言われました。39歳の私も、仕事を一生懸命にやるのならできるかという思いでロータリークラブに入会をさせていただきました。

まだまだお話をしたいのですが、時間も経ってききましたので「地区方針」について少しお話をさせていただきます。地区方針は、「地区の明るい未来のために、地域の人々と親睦と持続可能な奉仕活動の推進」といたしました。具体的な方針については、次の9つにまとめました。

1つ目、会員増強の目標を立て実行をしましょう。

シェカール・メータ会長は「Each One, Bring One（みんなが一人を入会させよう）」とおっしゃいました。会員増強は釧路クラブの皆さまが大変素晴らしい計画を立てて実行中です。2500地区第1位、しかも100人以上のクラブは唯一のクラブです。このクラブを維持し、そしてまた新会員をさらに増強しようという姿勢は、まさにメータ会長の思いと同じだと思います。メータ会長は、「目標を立てる時に12カ月で達成できるものは目標ではない。14カ月でできるかな、15カ月で可能かな、という目標を立て、それに努力をする過程が一番大切だ」と、先ほどのビデオには出ていませんでしたけれどもおっしゃっていました。この目標設定とそれをやり抜く仲間の力、これはこれからも何事にも生きてくる力だと思います。

2つ目、あと一歩の「ポリオ根絶」に協力しましょう。

ポリオもあと2カ国となりました。1つは、アフガニスタン。1つは、パキスタン。今年になってからそれぞれ1件ずつの発生です。もう一歩のところまでできました。去年は、アフリカで絶滅宣言がされました。ぜひ、あと一歩のところを私たちの力を結集してこの目標を達成したいと思えますのでよろしく願いいたします。

3つ目、戦略計画委員会を立ち上げクラブの活性化を図りましょう。

皆さまのクラブは、85年の素晴らしい歴史のあるクラブです。85年前に創立会員の皆さまの熱い思いが、いまも脈々と生きている2500地区一番のクラブに育っております。ぜひこのことを大切にしながら、いまやれること、そして将来に向かってやっていくこと、を会員の皆さまでお話し合いをいただきながら50年後・100年後のクラブをイメージしながら日々の活動をしていただけるかなと思います。

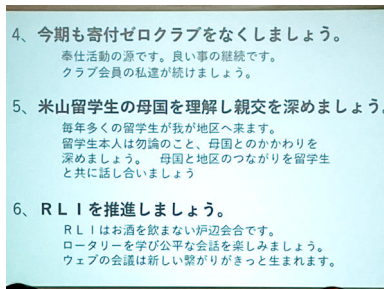
4つ目、今期も寄付0クラブをなくしましょう。

先ほどの協議会でもおっしゃっていただきました。

4年ほど続いております。吉田ガバナーの時も寄付0クラブを見事に達成されました。この会費を今年もぜひ続けていきたいと思えます。皆さま方のご協力をよろしく願いいたします。

5つ目、米山留学生の母国を理解し親交を深めましょう。

遠く母国を離れて、日本そして2500地区で高等教育を学んでいる留学生たちが米山の留学生です。私たちのクラブも今年の3月までフィジー出身の学生をホストさせていただきました。彼は2500地区で高等教育を学んで3月に帰国する時に、直行便がないの



で他国を経由して帰るのですが、飛行機のチケットが取れるかどうか分からないという時に、「大変皆さんにお世話になりました。フィジーに帰って政府の機関で私は働こうと思っています。ここで学んだこと、そしてこの恩は忘れません。日本とフィジーの架け橋になりたい」と言って帰って行きました。

ぜひ米山留学生と親しく交流をしていただき、その母国を理解し、その実のひとつひとつが結ばれていくことによってアジアの安定が生まれ、世界平和につながっていくものと確信いたします。ぜひこの芽を皆さんと一緒に育てていきたいと思っておりますので、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

6つ目、R L I を推進しましょう。

R L I は吉田がバナーの時にスタートをさせていただきました。それが、コロナでなかなか思うように進んでおりませんが今期もまたR L I を進展させて。これは、私はお酒を飲まない畑辺会合ではないかと思っております。皆さんと一緒にお話をしながら先輩のロータリアンの方も新入会員のロータリアンの方も、1つの議題に向かっていろいろな意見交換をする場です。ぜひR L I お声かけの時は参加をして、その良さを味わっていただければと思います。

7つ目、「ロータリー奉仕デー」を地域の人々と共に実施いたしましょう。

9月12日に、2500地区26クラブと269名のロータリアンが参加して、海岸清掃を行いました。これは、日本からスタートした「海岸清掃プラスチックゴミの回収活動」で、地球環境に優しいロータリーの7つ目の「環境」に関する重点目標の1つに数えられるものです。日本からこのような提案があるということがシェカール・メータ会長の耳に入り、9月12日に世界中で海岸清掃プラスチックゴミの回収作業を行いました。世界で23,000人のロータリアンが各国の海岸でこの作業に携わりまして、これからも開かれます。

メータ会長はアフリカにいたのですが、私たちが日本で行っている所と交換をしている時にアフリカからズームでお礼のメッセージが到着しました。このように世界に先駆けて、私たち日本の誇りとして環境問題の活動を今回行いました。ぜひこれからもご協力のほどをよろしくお願いいたします。

8つ目、ローターアクトと、種々の行事を共にいたしましょう。

ローターアクトクラブの皆さま方、ローターアクトの方々をいろいろなロータリアンの行事の機会にお誘いいただきながら、また力を貸して、青少年を将来のリーダーとして育てていただければと思います。よろしくお願いいたします。

9つ目、家族同伴例会を増やし、パートナーや家族にロータリー活動の理解とロータリーの素晴らしさ・楽

しさを味わっていただきましょう。

私がこれに力を入れて、ロータリアンの皆さまの良き理解者のパートナーの方にロータリーの本当の良さ、そしてお父さんがどのような方々とお付き合いをしているのか、そしてどのような皆さんと一緒に奉仕活動をしているか、に触れていただきながら、ぜひ地域のリーダーとして仲間を大切に活動していただければと思います。

最後になりました。もう一度申し上げます。コロナ禍を乗り切るには、皆さまの家族が元気になることです。一人ひとりのロータリアンが元気になって職業奉仕を一生懸命に誓うとともに、地区でも・地域でも・クラブでも・家庭でも、すべての面でリーダーシップを発揮していただき、この閉鎖され息が詰まるようなコロナ禍の世界から皆さま方の力で、皆さま方のクラブの活力で、この大変な時期に、リーダーシップを発揮して吹き飛ばしていただきたいと思っております。

ちょうど時間となりました。釧路クラブの皆さまの今年度1年間のロータリー活動の活躍をご期待申し上げます。私のお話とさせていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

## 会長謝辞



漆崎ガバナーにおかれましては、分かりやすく、また丁寧に地区の方針・活動についてお話をいただきまして、みんなも理解を深めたのではないかと感じております。ありがとうございます。

今回の訪問に先立ちまして、ガバナーとの『会長・幹事懇談会』は予定どおり9月30日に行われておりました。その時に初めてガバナーとゆっくりとロータリーについてお話をさせていただきました。ガバナーは苦勞をして回られている分、各地域・クラブのことをよく把握されておりまして、いかに各クラブが工夫をしてこのコロナの中、ロータリー活動を続けているかととても丁寧に伝えていただいたことが印象的でした。

いろいろお聞きしましたが、例えば、昨年からは夜例会を含めて一度も休会をしていないクラブがあったということ、また奥様同伴でワクチンを打つ例会を催したクラブがあった、など興味深く聞かせていただきまして参考にさせていただきました。

改めて、ガバナーにおかれましては、このコロナ禍の中、難しい舵取りをお願いすることになるかと思いますが、釧路クラブ一同はガバナーのますますのご活躍を心から祈念いたしまして、本日のお礼に代えさ

せていただきたいと思います。  
本日は、ありがとうございました。

## 司会

ここで、バナーの交換を行います。漆崎ガバナー、杉村会長、ご登壇ください。



## 本日のニコニコ献金

- 漆崎 隆ガバナー 御礼
- 杉村 莊平君 無事に公式訪問例会を開催出来ました。ありがとうございます。
- 中島 徳政君 良い事がありました。ニコニコさせていただきます。
- 池田 一己君 今週土曜日に栄町公園午後5時から第10回ヒアガーデンを開催します。寒いでしょうがビール一杯無料で提供しますので、是非お立ち寄りの上、応援をお願いします。午後8時までやっています。

今年度累計 106,000円